

第187号

ほほえみの会

2016.3.13

半年ぶりの会報になります。申年になって早3月。
申年は「サル」にかけて、「病がサル」「悪いことがサル」良いことがやってくる年ということです。
もともと、申という字は「伸ばす」という意味で、草木が十分に伸びきった時期を表すそうです。そして、申の漢字は「雷」の原字で「稲妻」を表している。雷は神が鳴らすもので神鳴り。
申に示す偏をつければ「神」になる。
子供たちにも神がついて良いことや幸せがやってくる年だそうです。

<243回 10/11 ほほえみの会 > 6人が参加しました。

- ▼1歳、神経芽腫。11か月から歩いていた子が歩けなくなった。頭にたんこぶもでき近くの病院で診てもらったがわからずこども病院で病気がわかる。抗がん剤治療を始めたが一人で入院させておくのが心配。これからの人生に病気がどう影響するのか心配。
- ▼4歳、急性リンパ性白血病。鼻水が止まらず近くの耳鼻科で診てもらったら中耳炎と言われた。その後鼻血が出るようになり蓄膿症だと言われたが、がんセンターに検査入院して病名が分かりこども病院へ。入院する前日まで学校に行っていたし、蓄膿症だと聞いていたので病名にショック。本人の精神面が心配。また兄弟とどう接していかせたらいいのか悩む。
- ▼6歳、急性骨髄性白血病。足にあざが出るようになり増えてきたので近くの小児科で診てもらったところ総合病院へ行ったほうが良いということで検査をし、こども病院へ。一昨日から抗がん剤治療を始めたが、まだ状況が良く分からない。入院の前日まで幼稚園へ行っていたので、いつ幼稚園に行けるか、家に帰れるかとわがママを言う。どうしたらいいのか分からない。

<244回 11/8 ほほえみの会 > 2人が参加しました。

<245回 12/13 ほほえみの会 > 4人が参加しました。

▼6歳、肝臓の腫瘍。夏前から背中が痛いという、高いところから落ちたこともあり整形外科に行ったが異常なし。改めて小児科へ行ったところ総合病院へ行くように言われ、腫瘍の可能性があるとのでこども病院へ。大きく腫れていたのですぐに手術をした。肝臓はすぐに再生されたが、2か月後にまた腫瘍が見つかり再手術。今は抗がん剤治療をしているが珍しいタイプの腫瘍で薬が効くのか不安。

<246回 1/10 ほほえみの会 > 2人が参加しました。

<247回 2/14 ほほえみの会 > 2人が参加しました。

<248回 3/13 ほほえみの会 > 6人が参加しました。

▼1歳、急性リンパ性白血病。溶連菌があり、熱が下がらないので診てもらったところ血液検査で異常がわかる。県外在住で大きな病院を紹介してもらったが、母親の実家がある静岡のこども病院へ。4歳の姉とともに実家に住む。病気は寝耳に水でこれからが不安。

▼3歳、急性白血病。2年前、先に来日して貿易の仕事をしている夫のもとに、母と子で静岡へ。知り合いもおらず、日本語もわからない中で病気になる。がんは骨の中にもあり、胸や腎臓にも問題があるという。また、今妊娠をしていてつわりがひどい。急遽、海外から義理の姉に来てもらって面倒を見てもらっているが、わからないことばかりで不安。宗教から病院食でも食べられない食材がある。が、スタッフや医師が優しいのでありがたい。子供の方が早く日本語を覚えている。日本に来て病気になったのは大変だが、医療も進んでいてラッキーだと思う。ポジティブに考えたい。

次回は 4月10日(日) 午前 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail アドレス k_likeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>